

Cisco Firepower はファイル生成手順を解決します

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[FMC の Web インターフェイスの使用](#)

[トラブルシューティング ファイルを生成して下さい](#)

[トラブルシューティング ファイルをダウンロードして下さい](#)

[CLI \(コマンドライン インターフェイス \) の使用](#)

[Firepower Management Center](#)

[Firepower デバイス](#)

[Firepower 拡張可能なオペレーティング システム \(FXOS \)](#)

[CLI のトラブルシューティング ファイルをコピーして下さい](#)

[Firepower Management Center](#)

[Firepower デバイス](#)

[Firepower 拡張可能なオペレーティング システム \(FXOS \)](#)

概要

この資料に Cisco Firepower でトラブルシューティング ファイルを生成する方法を記述されています。トラブルシューティング ファイルには、一連のログ メッセージ、構成データ、およびコマンド出力が含まれています。Firepower ハードウェア および ソフトウェアのステータスを判別するために使用します。Cisco エンジニアが Firepower デバイスからのトラブルシューティング ファイルを送信するように要求する場合この資料で提供される手順を使用できます。

前提条件

Cisco は以下の製品のナレッジがあることを推奨します:

- Firepower Management Center (FMC)
- Firepower Threat Defense (FTD)
- ASA で動作する FirePOWER (SFR) サービスモジュール
- Firepower 拡張可能なオペレーティング システム (FXOS)

注: 管理アプライアンス自体を、またはあらゆる管理対象装置のためのトラブルシューティング ファイル生成するのに FMC を使用できます。この文書に関する指示はソフトウェアバージョン 5.0 またはそれ以降を実行する FMC で適当です。

警告: 本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

FMC の Web インターフェイスの使用







トラブルシューティング ファイルを生成して下さい

トラブルシューティング ファイルを生成するには、次の手順を実行します。

- バージョン 6.x では、システム > 健康 > 管理機器 Web インターフェイスの **モニタ** にヘルス モニタ ページに達するためにナビゲートして下さい。

バージョン 5.x では、健康 > 管理機器 Web インターフェイスのヘルス モニタ にヘルス モニタ ページに達するためにナビゲートして下さい。

- アプライアンスを拡張するために特定のステータスのアプライアンスを、クリックします。行の端に矢印をリストし、表示して下さい:

	Status	Count	
	Error	0	
	Critical	1	▼
	Warning	0	
	Recovered	0	
	Normal	1	▶
	Disabled	1	▶

ヒント : ステータス水準点のための行の端に矢印がより低い表に、そのステータスのためのアプライアンス リスト現われれば。矢印が権限を指す場合、アプライアンス リストは非表示です。

- アプライアンス リストのアプライアンス カラムでは、詳細を表示したいと思うアプライアンスの名前をクリックして下さい。ヘルス モニタ アプライアンス ページは提示されます。
- 『Generate』 をクリック しま **ファイルのトラブルシューティング**。オプション ポップアップ ウィンドウを解決することは現われます。
- 可能性のあるデータのすべてのレポートをトラブルシューティング生成するために**すべての Data チェックボックス**をチェックするかまたはレポートをカスタマイズするために個々のチェックボックスをチェックして下さい:

Troubleshooting Options

Please select the data to include:

- All Data
 - Snort Performance and Configuration
 - Hardware Performance and Logs
 - System Configuration, Policy, and Logs
 - Detection Configuration, Policy, and Logs
 - Interface and Network Related Data
 - Discovery, Awareness, VDB Data, and Logs
 - Upgrade Data and Logs
 - All Database Data
 - All Log Data
 - Network Map Information

Note: This may take several minutes.

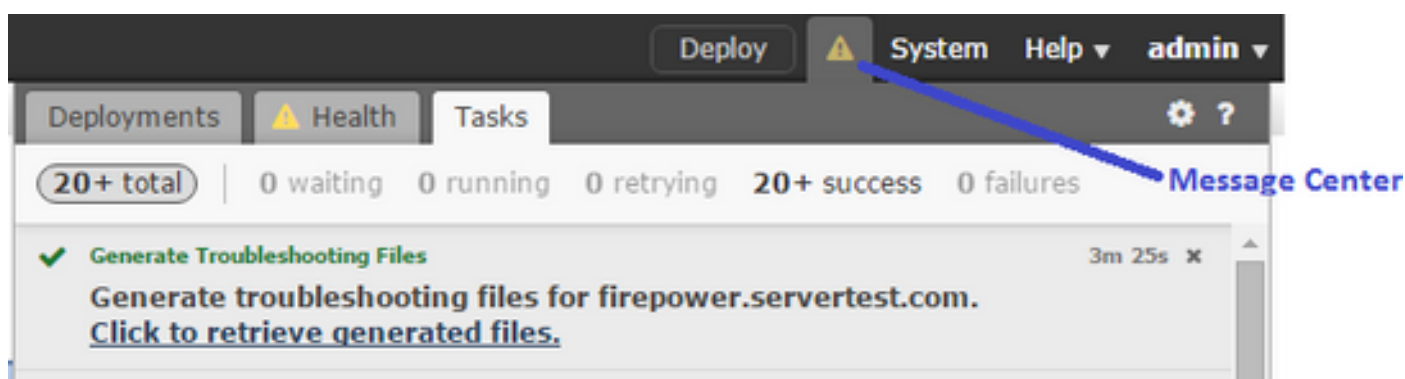
6. 『Generate』 をクリック すれば 管理センターはトラブルシューティング ファイルを生成 します。

ヒント：バージョン 6.x では、タスク ステータスのファイル生成プロセスを監視するた めに、メッセージ センター アイコンに（その間オプションはシステム展開し、）> タスク ナ ビゲートして下さい。バージョン 5.x では、タスク待ち行列のファイル生成プロセスを監視 するために、システム> モニタリング> タスク ステータスにナビゲートして下さい。

トラブルシューティング ファイルをダウンロードして下さい


生成されるのコピーをダウンロードするためにファイルを、行きます FMC で Status ページ タス クに解決して下さい。バージョン 6.x では、メッセージ センター アイコンに（その間オプシ ョンはシステム展開し、）> 管理機器 Webインターフェイスのタスク Status ページ タスクに達す るためにナビゲートして下さい。バージョン 5.x では、管理機器 Webインターフェイスのシステ ム> モニタリング> タスク ステータスに Status ページ タスクに達するためにナビゲートして下 さい。

6.x:



5.x:

Jobs

Task Description	Message
 Generate troubleshooting files jobs for 0 Running 0 Waiting 1 Completed 0 Retrying 0 Failed	
Generate troubleshooting files for	Click to retrieve generated files.
Generate Troubleshooting Files	

アプライアンスがトラブルシューティング ファイルを生成すれば、完了されるへのタスク ステータス 変更。生成したトラブルシューティング ファイルに対応するタスクを見つけることができます。生成されるファイル リンクを取得し、ファイルをダウンロードするためにブラウザ プロンプトに従うようにクリックをクリックして下さい。ファイルは .tar.gz 単一ファイルのデスクトップにダウンロードされます。

CLI (コマンド ライン インターフェイス) の使用

前のセクションに説明があり、管理アプライアンス Web インターフェイスにアクセスすることができないまたは管理アプライアンスと管理対象装置間に接続上の問題があれば世代別方式を使用するように試みれば、トラブルシューティング ファイルを生成できなければ。この場合、トラブルシューティング ファイルを生成するためにアプライアンスの CLI を使用できます。

Firepower Management Center

トラブルシューティング ファイルを生成するために Firepower Management Center のこのコマンドを入力して下さい:

```
admin@FMC:~$ sudo sf_troubleshoot.pl
```

```
Starting /usr/local/sf/bin/sf_troubleshoot.pl...  
Please, be patient. This may take several minutes.  
Troubleshooting information successfully created at /var/common/xxxxxx.tar.gz
```

Firepower デバイス

トラブルシューティング ファイルを生成するために FirePOWER デバイス/モジュールおよび管理対象装置のこのコマンドを入力して下さい:

```
> system generate-troubleshoot all  
Starting /usr/local/sf/bin/sf_troubleshoot.pl... Please, be patient. This may take several  
minutes. The troubleshoot option code specified is ALL. Troubleshooting information successfully  
created at /var/common/xxxxxx.tar.gz
```

Firepower 拡張可能なオペレーティング システム (FXOS)

Firepower 拡張可能なオペレーティング システム (FXOS) からのトラブルシューティング ファイルを直接得ることができます。ファイルを生成するために、セキュア シェル (SSH) を使用してデバイスの管理アドレスに接続する必要があります。FXOS CLI にあったら、ファイルを生成

成するために下記のステップに従って下さい:

```
FP4150# connect local-mgmt
FP4150(local-mgmt)# show tech-support fprm detail
```

```
Initiating tech-support information task on FABRIC A ...
Completed initiating tech-support subsystem tasks (Total: 1)
All tech-support subsystem tasks are completed (Total: 1[received]/1[expected])
```

The detailed tech-support information is located at
workspace:///techsupport/20170116170843_FP4150_FPRM.tar

```
FP4150(local-mgmt)#
```

fprm キーワードは Firepower プラットフォーム管理のためのトラブルシューティング ファイルを生成します。同様に、システムはまた解決しますシャーシおよびセキュリティモジュールからのファイルを生成することを可能にします。

```
FP4150(local-mgmt)# show tech-support ?
  chassis  Chassis
  fprm     Firepower Platform Management
  module   Security Module
```

トラブルシューティング ファイルが生成されれば、ワークスペースでそれを見つけることができます。確認する次のコマンドを実行して下さい:

```
FP4150(local-mgmt)# dir workspace:/techsupport

1 9912320 Jan 16 17:10:07 2012 20170116170843_FP4150_FPRM.tar
```

```
Usage for workspace://
4032679936 bytes total
43540480 bytes used
3784286208 bytes free
```

```
FP4150(local-mgmt)#
```

注: すべての 3 つのパラメータ (fprm、シャーシ、モジュール) を使用して正常にファイルを生成すれば、/techsupport ディレクトリでそれらを見るはずです。

CLI のトラブルシューティング ファイルをコピーして下さい

FXOS からコンピュータにファイルをコピーする前に、以下の項目を確認して下さい:

- ローカル コンピュータのファイアウォールはあらゆる必要なポート上の着信接続を許可します。たとえば、ファイルをセキュア シェル (SSH) コピーすれば、コンピュータはポート 22 あらゆる関連ポートからの接続を、のような可能にしたにちがいありません。
- コンピュータ Secure Copy (SCP) サービスを実行したにちがいありません。インターネットのさまざまな SSH/SCP サーバソフトウェアを見つけることができます。ただし、Cisco は特定の SCP サーバをインストールし、設定するためにサポートを提供しません。

トラブルシューティング ファイルをコピーするために Firepower Management Center のこのコマンドを入力して下さい:

```
admin@FMC:~$ sudo scp troubleshoot_file_name username@destination_host:destination_folder
```

Firepower デバイス

トラブルシューティング ファイルをコピーするために FirePOWER デバイスおよび管理対象装置のこのコマンドを入力して下さい:

```
> system file secure-copy hostname username destination_folder troubleshoot_file
```

注: この例では、**ホスト名**はターゲット リモートホストの名前か IP アドレスを示します、**ユーザ名**はリモートホストのユーザの名前を規定します、**destination_folder** はリモートホストの宛先パスを規定し、**troubleshoot_file** ローカルを解決します転送のためのファイルを規定します。

Firepower 拡張可能なオペレーティング システム (FXOS)

トラブルシューティング ファイルをローカル コンピュータに Firepower 拡張可能なオペレーティング システム (FXOS) からコピーするために、Firepower アプライアンスの次のコマンドを実行して下さい:

```
FP4150(local-mgmt) # copy workspace:/techsupport/filename scp://username@X.X.X.X
```